

様式 1

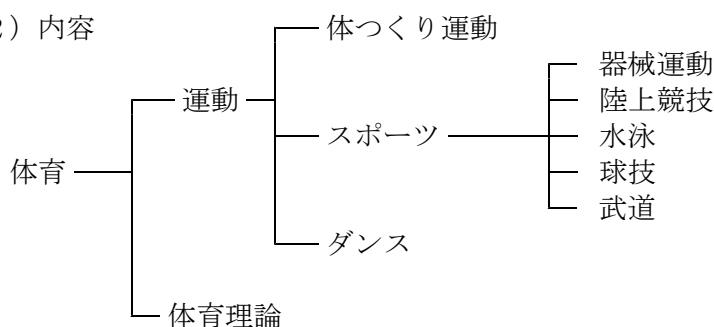
科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
体育	2	3	必修	普通科・国際人文科

1. 科目概要および目標

(1) 目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

(2) 内容



2. 成績評価

評価については、以下の4観点から総合的に見ていく。

(1) 運動への関心・意欲・態度

- ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら積極的に運動しようとしているか。
- ・公正・協力・責任などの社会的態度が身に付いているか。
- ・健康や安全に留意して運動しようとしているか

(2) 運動についての思考・判断

- ・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ、その課題解決を目指して活動の仕方を考え工夫しているか。

(3) 運動技能

- ・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い技能を高めているか。
- ・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか

(4) 運動についての知識・理解

- ・社会や生活の変化とスポーツの重要性、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し知識を身につけているか。

3. 使用副読本・服装

(1) 副読本「カラーワイドスポーツ」

(2) 服装は、指定の体育着

4. 授業の展開と形態

(1) 4クラス5展開を基本とする

(2) 全種目とも男女共修とする

(3) 各種目とも基本的に選択制とする

5. 学習方法

各種目とも、個人・ペア・グループ・一斉授業の方法をとる

6. 履修上の留意点

(1) 科目選択をする際考慮すべき事項

- ・3年間を見通して種目を選択する。

体育 年間授業計画

	種目名	内 容	配時	マ-ク欄
		オリエンテーション・選択種目決め	1	/ /
4月	体づくり運動 (必修) 体ほぐしの運動 体力を高める運動	・集団行動 ・体力テスト ・体ほぐし	7	/ / / / / /
5月	(選択) 5クラス展開 水泳 クロール・平泳ぎ・背泳ぎ・バタフライ	・ガイダンス ・グループ分け ・計画を立てる	14	/ / / / / / / /
6月	器械運動 マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動 陸上競技 競走・跳躍・投てき	・ねらい① 個人で各種目の特性にふれて楽しむとともに、自分たちの課題を見つける		/ / / / / /
7月		・ねらい② 個々の課題に応じた工夫ある練習の実施や、より発展した技術の獲得をめざす		/ / / /
9月	球技 (選択) バレーボール バスケットボール	・ガイダンス ・グループ分け ・計画を立てる		34
10月	サッカー テニス 卓球 ソフトボール	・ねらい① 今もっている力でゲームやラリーを楽しむとともに、自分たちの課題を見つける	/ / / / / / / /	
11月		・ねらい② 対戦チームの分析を行って、作戦を立ててゲームを楽しむ。自分たちの課題を練習してレベルアップを図るとともに、ゲームの楽しさを、難しさを知る。	/ / / / / / / /	
12月			/ / / / / /	
1月			/ / / /	

／単元終了日時

授業を受けるに当たって守って欲しい事項等

- ①自己健康管理に注意し、怪我防止の対策を万全にする。
- ②指定の体操服、体育館シューズ、運動できる外履きを着用すること。
- ③活動場所への移動は休み時間の内に完了すること。
- ④見学者は授業前に担当者に申し出て指示を受けること。
- ⑤貴重品の管理をしっかりと行うこと。